

地方創生、町の成果は

町長 一定の効果はあったと認識している

地方創生の成果は

問 国が進める地方創生は、成果が乏しいと批判も出始めているが、町の成果はどうか。

町長

総合戦略に基づき、6つの戦略アクションプロジェクトを中心に事業を展開している。44項目の数値目標を設定し、18項目について目標達成した。一定の効果はあったと認識している。

婚活子育て応援プロジェクトは

問

人口減少は、結婚率が低いた



田中 孝 議員

めと思うが、今後、どのように進め成果を出していくのか。

町長

婚活サポート委員会を中心に支援策を展開している。今後は、これまでの事業を評価、検証し、よりニーズに即した内容への転換をはかりながら、成婚に結び付けた。

気軽な出会いの場を

問

結婚を前提にした集まりではない、出会いの場などの取り組みは。

健康福祉課長

婚活という言葉自体

が敬遠されている。町内飲食店などの協力をいただき、結婚を前提とした出会いを意識しないような出会いの場を作りたい。

紅花生産日本一として

問

紅花を利用してインバウンドの受け入れと、日本の紅をつくる町推進拠点施設を活用した観光推進をどのように取り組むのか。

町長

インバウンド事業は、引き続き近隣市町と連携し取り組んでいく。拠点施設での紅花体験など、食と体験を絡めたツアー設定などを検討していく。

紅花生産の今後は

問

高齢化等により、紅花栽培者も不足している。栽培面積の確保など、今後どのように進めていくか。



行き場のない・・・

商工観光課長

面積の確保も必要だが、今、最も必要なことは摘むシステムを作ることである。高齢化はどの現場でも避けては通れない。生きがいとやりがいを持つてもらえるような仕組みを作りたい。

町長

保管すべき種類や数を絞り、活用困難な物は処分しながら整理を進めていく。

問

どのように整理を進めるのか。

教育次長

町文化財保護審議会委員等の意見を聞きながら進める。30年度に配置する文化財活用コーナー（インターネット）の業務の中にも、史料の整理を予定している。

旧中山小学校体育館について

問

保管されている史料を整理すべきではないか。

いち早く資料の行き場の確保を